

港区5歳児健康診査の導入について

乳幼児期から就学時まで、切れ目なく子どもの健康の保持増進を図るため、港区5歳児健康診査を令和8年4月に導入します。

1 背景、経緯

現在、区は、母子保健法に基づき1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査等の乳幼児健康診査を実施しています。しかし、3歳児健康診査以降は、学校保健安全法に基づく就学時の健康診断までの間、健康診査を実施していません。

5歳児は、特に言語の理解能力や社会性が高まり、保健・医療・福祉の対応の有無がその後の成長・発達に影響を及ぼすとされています。区立児童発達支援センターの利用者からも、「もっと早く相談に来ればよかった」、「保育園や幼稚園で指摘してほしかった」等の声が寄せられています。

こうした状況の中、国は、令和5年度に国庫補助制度を創設し、全国の自治体における5歳児健康診査の実施を目指しています。

区は、令和7年4月以降、専門的知見を有する識者等で構成する「港区5歳児健診導入に向けた検討委員会」を設置し、検討を重ねてきました。

2 検討状況

(1) 主な検討課題

- ア 健診項目、体制等有効な健診方法に関する事
- イ 健診の精度管理に関する事
- ウ 健診結果を踏まえた適切な支援のあり方に関する事 等

(2) 検討の経過及び主な内容

- ア 第1回 令和7年6月3日
検討課題の共有、実施体制、開始時期及び対象月齢の検討
- イ 第2回 令和7年7月2日
実施体制、医療機関アンケート項目等、健診項目、専門相談、開始時期及び対象月齢、医師の所見と判定基準の検討
- ウ 第3回 令和7年8月4日
医療機関アンケートの結果報告、健診項目、開始時期及び対象月齢の検討
- エ 第4回 令和7年9月3日
健診項目、健診の精度管理、地域のフォローアップ体制の検討
- オ 第5回 令和7年10月22日（予定）

(3) 検討委員会の構成

	氏名	所属等
委員長	首里 京子	サニーガーデンこどもクリニック 院長
副委員長	世間瀬 基樹	東京シティクリニック三田 院長
委員	黒木 春郎	こどもとおとなのクリニック パウルーム 院長
委員	牛山 華絵	港区立児童発達支援センターぱお 総合相談事業施設長
委員	宮本 裕介	港区保健福祉支援部障害者福祉課長

3 5歳児健康診査の概要

(1) 対象者

満5歳となる幼児（約2,600名）

(2) 実施体制

区内委託医療機関において、身体測定、問診・診察を実施

その後、みなと保健所における専門相談を実施

(3) 主な健診項目

身体発育、運動機能、感覚器、皮膚等、理解に関する課題、情緒・行動、
子どもの遊び、生活習慣、育児環境、心配事

4 事業規模

2,337千円

(内訳)

受診票印刷、郵送料等 566千円

健康管理システム改修 1,771千円

5 今後のスケジュール（予定）

令和7年 9月 令和7年第3回港区議会定例会（補正予算案の提出）

10月 第5回港区5歳児健診導入に向けた検討委員会

各医療機関向け研修・説明会

11月 健康管理システム改修

令和8年 3月 対象者向け通知発送

4月 5歳児健康診査開始